

議事（2）

柳瀬川雨水ポンプ場の建設について

みんな笑顔☆ふじみ
富士見市

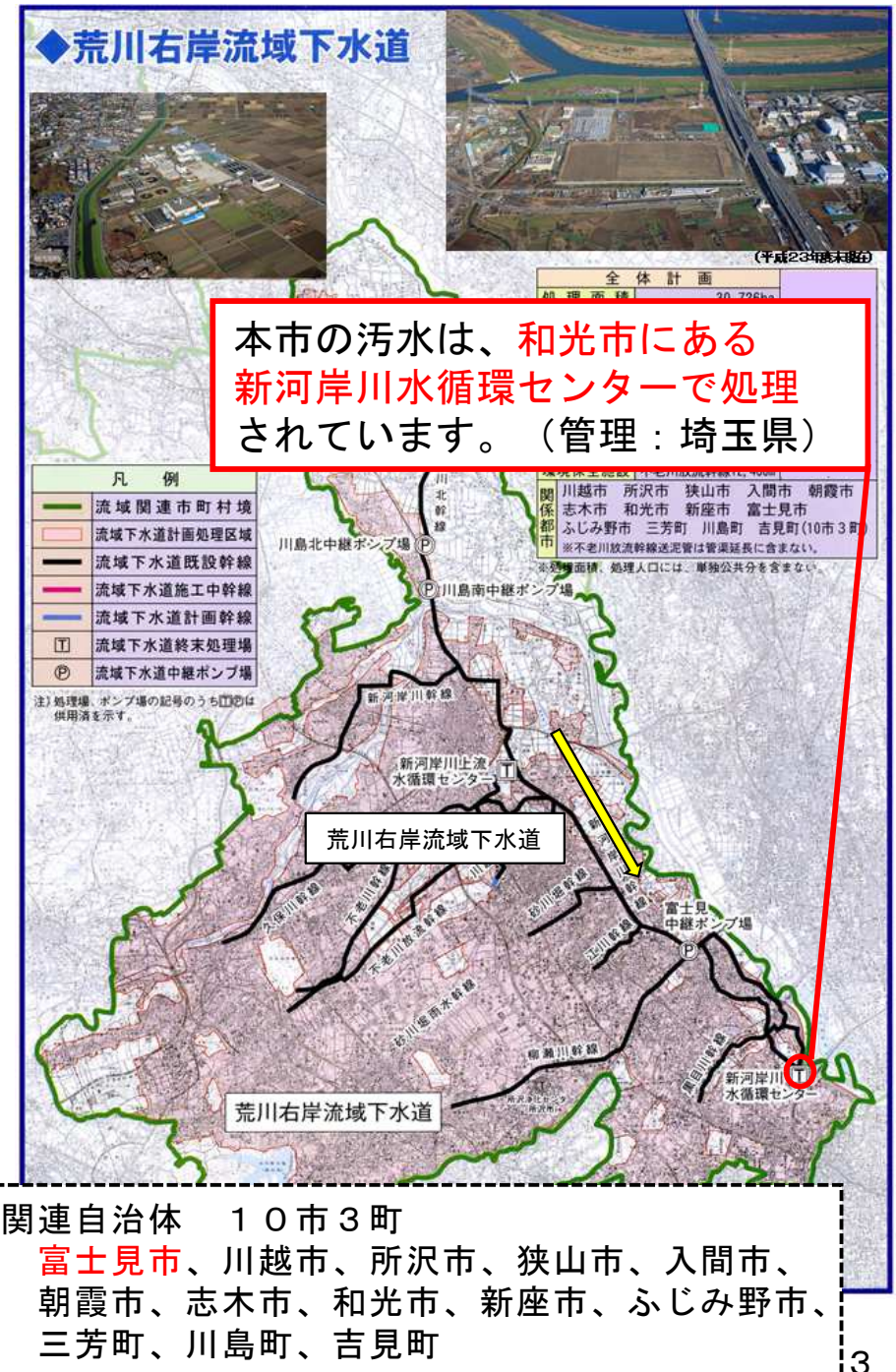


公共下水道事業の概要について

富士見市の下水道事業について

昭和46年度、10市1町を計画区域とした荒川右岸流域下水道が埼玉県
の事業として発足しました。現在は、
10市3町となっています。

本市下水道事業は、昭和49年10月
に流域関連公共下水道として事業
認可(汚水・雨水)を取得し、昭和57年
8月に供用を開始しました。荒川右岸
流域下水道事業計画(県)を上位計画
とし、進めています。



下水道の役割

① 街をきれいにする

→ 衛生的な暮らしの確保

② 浸水から守る

→ 安心・安全の確保

③ きれいな水辺をつくる

→ 環境の保全



下水道事業の目的・種類（污水）

污水事業

【目的】

下水道法に基づき、**都市の健全な発達及び公衆衛生の向上**に寄与し、併せて**公共用水域の水質の保全**に資すること

【主な種類】

- ・ 流域下水道事業
- ・ 公共下水道事業
- ・ 特定環境保全公共下水道事業

※青字：現在、市が実施しているもの



具体的な事業

- ・ 老朽化対策
- ・ 耐震化
- ・ 未普及対策
- ・ 不明水対策 など

整備状況について（污水）

全体計画区域（污水）1508ha

【凡例】

オレンジ破線：行政区域（他市との境目）

赤実線：県の下水道

青実線：市で污水整備を計画している区域

全体計画区域は、行政面積
1977haに対し、約77%を
対象としています。

計画区域内を13処理分区に分け
管理しています。



【令和6年度末】

行政 面積 (ha)	行政 人口 (人) (A)	現計画面積			整備状況		
		全体 計画 (ha)	計画 決定 (ha)	事業 認可 (ha)	整備 面積 (ha)	整備 人口 (人) (B)	普及率 (%) (B) / (A)
1,977	113,455	1,508	1,326	1,264	1,105	112,217	98.9%

令和6年度末の行政人口
に対する
下水道普及率：98.9%
(県平均：84.0%)

下水道事業の目的・種類（雨水）

雨水事業

【目的】

水害の少ない安全なまちづくりの確立及び降雨時における
浸水被害の防除

【主な種類】

- ・ 公共下水道事業
- ・ 都市下水路事業

※青字：現在、市が実施しているもの



具体的な事業

- ・ 浸水対策
- ・ 老朽化対策
- ・ 耐震化 など

整備状況について（雨水）

全体計画区域（雨水）1823ha

全体計画区域は、行政面積
1977haに対し、**約92%を対象**
としています。

公共下水道事業では、雨水ポンプ場
を1箇所整備しています。



行政 面積 (ha) (A)	現計画面積			整備状況	
	全体 計画 (ha)	計画 決定 (ha)	事業 認可 (ha)	整備 面積 (ha) (B)	整備率 (%) (B) / (A)
1,977	1,823	1,218	575	276	14.0%

令和6年度末の行政面積
に対する

整備率：14.0%

変更案の概要について

(柳瀬川雨水ポンプ場の設置)

変更の経緯

針ヶ谷地区(柳瀬川第一排水区)では、令和元年10月の東日本台風(台風19号)により、冠水被害が発生した。現状、当該排水区には樋管しかなく、大雨時に柳瀬川に強制排水する施設が無い状況である。

冠水被害の状況



位置図



柳瀬川雨水ポンプ場の追加

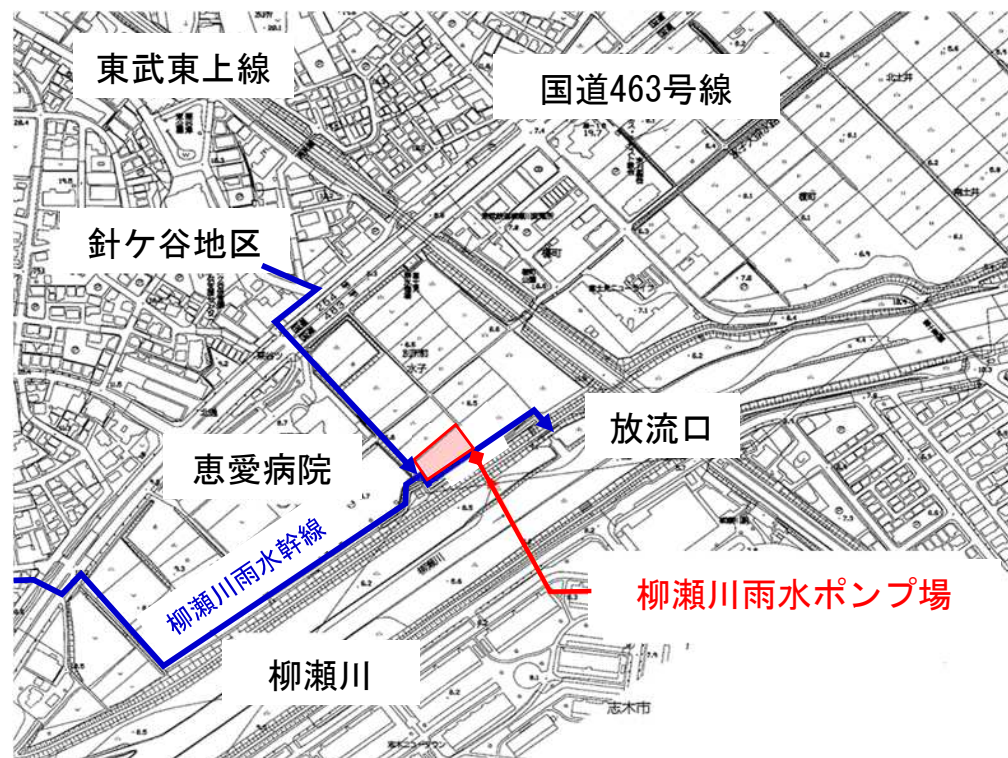
【変更の内容】

近年の台風の大型化や豪雨の頻発化を踏まえ、冠水被害の軽減を目的に、雨水ポンプ場を設置する。

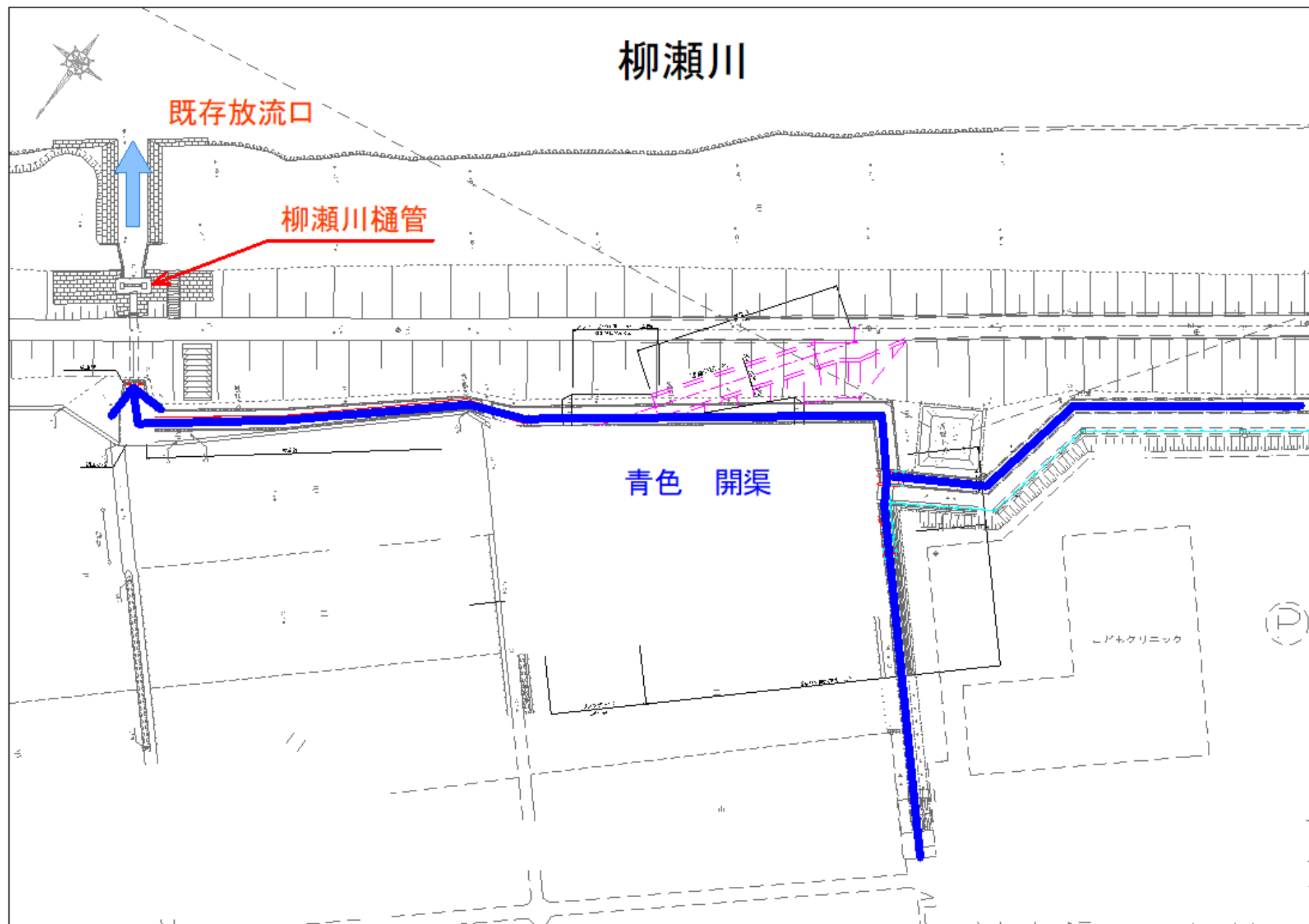
【施設の概要】

針ヶ谷地区の雨水は、雨水幹線（公共下水道）を通じて柳瀬川へ排出します。大雨時、柳瀬川へ雨水を強制排水するため、河川への放流口付近に建設する計画です。

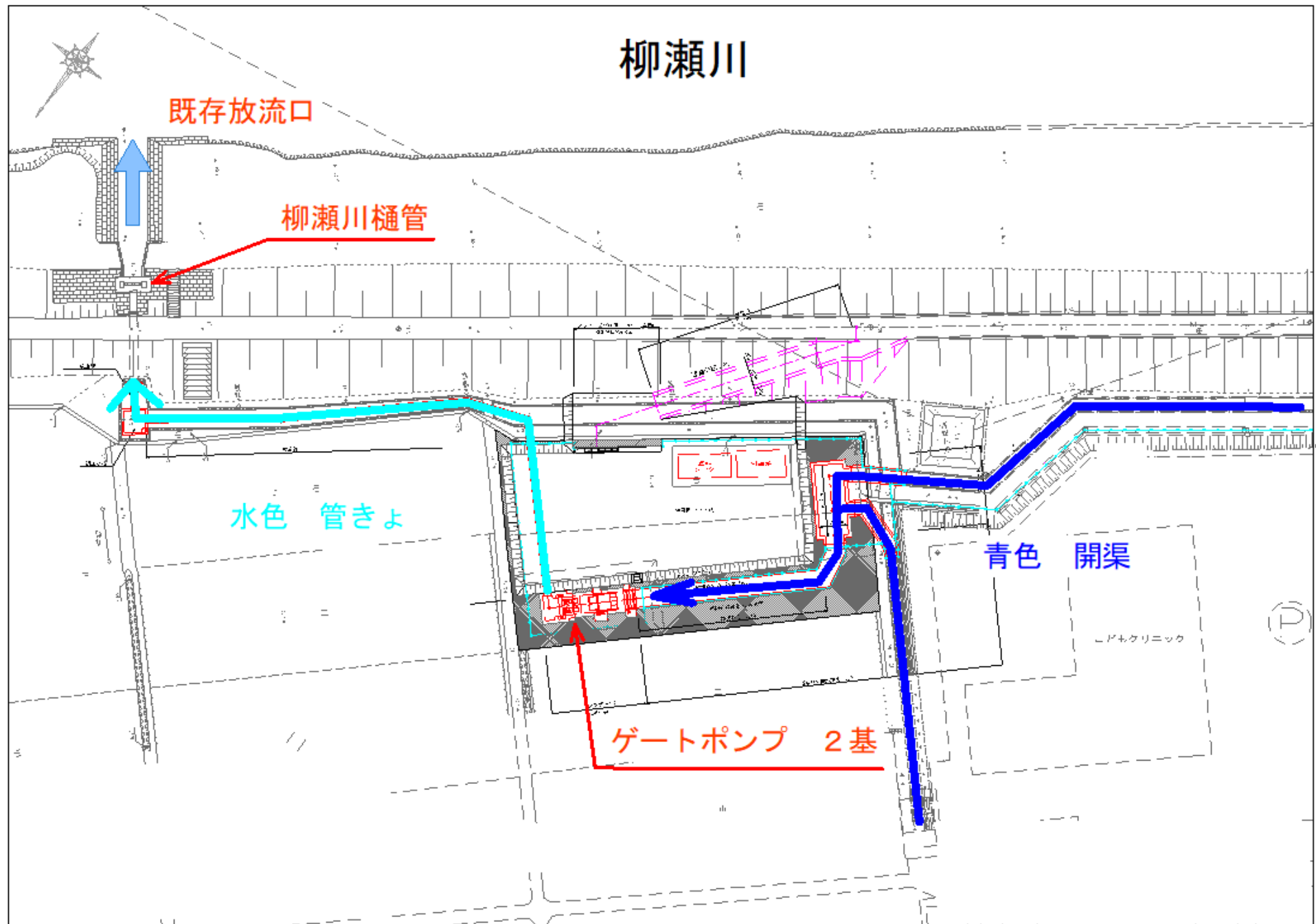
- ・ 雨水排水ポンプ
（排水量：1.4m³/秒）



現在の排水経路



整備後の排水経路



今後の予定について

